

# 【東海大】平成30年度共同事業 実施状況一覧

## (1) 行政施策の立案及び実施に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）	
1	地域コミュニティ形成に関わるまちづくりへの提案	継続	都市部 都市政策課	工学部 建築学科 加藤 仁美教授	行政提案型市民協働事業  郊外住宅地の実態調査を通じて、持続可能な地域コミュニティの形成に関わるまちづくり提案を行う。	期 日	平成30年7月～平成31年3月
						場 所	大住台地区
						内 容	居住地選択行動や意思決定プロセスなどについて調査分析等
						参加者数	23名
成果及び課題	大学や地域、行政の交流により、地域コミュニティの形成、郊外住宅地の活力の創造が期待される。また、大学研究のノウハウを生かした市の将来のまちづくりに資する提案が期待できる。						

## (2) 保健、福祉及び医療等の推進に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）	
1	災害時医薬品の供給業務	継続	企画部 危機管理課	医学部附属病院 薬剤部 薬剤科	災害時における医薬品の供給に関する協定(18年10月1日締結)に基づき、災害発生時における医薬品を供給するため、備蓄及び管理を行う。	期 日	平成30年4月1日～平成31年3月31日
						場 所	市内7箇所医療救護所
						内 容	災害時医薬品管理及び更新
						参加者数	延べ8名
成果及び課題	災害時医薬品の適正管理						
2	認知症に関する医療と介護の連携	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部 医学科 瀧澤 俊也教授	地域包括支援センター・医師会・認知症疾患医療センター(東海大学病院)、市により、認知症にかかる医療と介護の連携を強化する。	期 日	平成30年5月29日、11月6日
						場 所	東海大学医学部1号館2階第一会議室
						内 容	湘南西部地域の認知症初期集中支援事業等の情報交換
						参加者数	各回35名
成果及び課題	湘南西部市町の認知症初期集中支援事業等の進捗状況や課題の把握ができた。						
3	ライフケアセンターとの包括的な健康づくり事業	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 西崎泰弘教授	健診未受診の方を健診受診につなげるための健康バス等の事業を実施し、市民の健康増進を推進する。	期 日	【実施済み】10回 【今後実施予定】2回
						場 所	各地区会場、市役所分室
						内 容	骨量測定、体組成測定、血管年齢測定、血圧測定*血圧測定は会場によって実施しない場合もあり。
						参加者数	498名
成果及び課題	参加者は健康や健診について考えるきっかけになっている。今後の事業展開について課題。						

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）	
4	小児看護学実習 I	継続	子ども部 子ども育成課	医学部 看護学科 児玉千代子准教授	看護師資格の取得 に向け、公立保育 所での現場実習を 実施する。	期日	①平成30年10月8日～10月11日 ②平成31年1月15日～1月18日
						場所	大山保育園・中央保育園・高部屋愛育 保育園
						内容	小児病棟での小児看護学実習の前実 習として、公立保育所において実習生を 受け入れる。
						参加者数	①7名、②12名
						成果及び 課題	学生が小児の発達段階や成長過程の 理解を深めることにより、看護師の育成 に寄与することができる。
5	救急車同乗実習	継続	消防本部 警防救急課	医学部 医学科 中川 儀英教授	現場救急医療から 院内医療への救命 リレーの重要性を学 習する。	期日	平成30年4月18日～平成30年6月13日
						場所	伊勢原市消防署本署
						内容	救急車同乗実習
						参加者数	9名(東海大学医学部6年生)
						成果及び 課題	救急車同乗出動件数 50件 (1人平均5.6 件)
6	伊勢原市学校保 健会講演会	新規 (単年度)	教育部 学校教育課	文化社会学部 心理・社会学科 芳川 玲子教授	小中学校の児童生 徒を始め、子どもた ちの健全な発達及 び健康づくりの視点 に立った学校運営 の参考に資すること を目的とする。	期日	平成31年2月26日(予定)
						場所	青少年センター 集会室
						内容	「思春期の子どもへの育ちと対応」
						参加者数	50名
						成果及び 課題	

### (3) 市が設置する各種審議会及び専門委員会等への人材派遣に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）	
1	伊勢原市行財政 改革推進委員会	継続	企画部 経営企画課	政治経済学部 政治学科 小林 隆教授 (8月末まで) 出雲 明子准教授 (9月以降)	市の行財政運営の 点検を行い、伊勢 原市行財政改革推 進計画の進捗状況 について意見を述 べる。	期日	平成30年8月27日、10月11日
						場所	青少年センター2階工芸室 他
						内容	公共施設使用料の見直し 他
						参加者数	8名
						成果及び 課題	専門的な見地から意見をいただいた。
2	伊勢原市行政不 服審査会	継続	総務部 文書法制課	未定	行政不服審査法に 基づく審査請求案 件に関し、市長から の諮問に応じて調 査及び審議をし、そ の結果を報告する。	期日	期日時点未実施
						場所	
						内容	
						参加者数	
						成果及び 課題	
3	伊勢原市情報公 開審査会	継続	総務部 文書法制課	健康学部 健康マネジメント 学科 堀越由紀子教授	情報公開請求の諾 否決定に対する審 査請求や情報公開 制度の在り方に関 し、市長などからの 諮問に応じて調査 審議し、その結果を 報告する。	期日	平成31年1月25日
						場所	伊勢原市役所 議会第3委員会室
						内容	委嘱状交付式及び会議
						参加者数	4名
						成果及び 課題	専門的な見地から意見をいただいた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
4	伊勢原市個人情報保護審査会	継続	総務部 文書法制課	法学部 法律学科 押久保倫夫教授  健康学部 健康マネジメント 学科 妻鹿ふみ子教授	個人情報の開示請求の諾否決定に対する審査請求に関する市長などからの諮問に応じて調査審議し、その結果を報告する。	期 日 期日時点未実施
						場 所
						内 容
						参加者数
成果及び 課題						
5	伊勢原市人権施策推進委員会	継続	市民生活部 人権・広聴相談課	伊勢原事務部 伊勢原人事課 野寺 隆史課長	本市が展開・実施する各種人権施策について、評価・点検等を行い、人権施策の総合的推進を図る。	期 日 平成31年2月4日、2月15日（予定）
						場 所 第3委員会室、市民文化会館
						内 容 人権施策の点検・評価について
						参加者数
成果及び 課題						
6	伊勢原市いじめ問題再調査会	継続	市民生活部 人権・広聴相談課	医学部 医学科 本多ゆみえ講師	いじめ防止対策推進法の規定による調査の結果について、市長の諮問に応じて調査し、その結果を答申する。	期 日 平成31年2月26日（予定）
						場 所 市民文化会館
						内 容 伊勢原市におけるいじめの現状について
						参加者数
成果及び 課題						
7	伊勢原市男女共同参画推進委員会	継続	市民生活部 人権・広聴相談課	医学部付属病院 薬剤部薬剤科 平綿 洋子科長補佐  医学部付属病院 診療技術部栄養科 後藤 陽子科長補佐 （※8月以降）	男女共同参画社会の形成をめざした伊勢原市民のネットワーク化や男女共同参画行政の総合的な推進を図る。	期 日 平成30年4月20日、8月27日、平成31年1月21日 ※その他、部会を年2～3回程度開催
						場 所 伊勢原市役所2C会議室
						内 容 事業計画案について、男女共同参画フォーラムについて
						参加者数 19名
成果及び 課題 成果及び課題：専門的分野の知識や経験による意見をいただいた。						
8	伊勢原市環境対策審議会	継続	経済環境部 環境対策課	医学部 医学科 立道 昌幸教授	環境基本計画の年度報告書など環境対策に関する重要な事項を調査審議する。	期 日 平成30年8月6日、10月25日
						場 所 第2委員会室、全員協議会室
						内 容 環境基本計画の年度報告書及び同計画中間改訂版など環境対策に関する重要な事項を調査審議する。
						参加者数 9名
成果及び 課題 専門的見地から意見をいただき、事業は計画どおり執行できた。						
9	伊勢原市清掃美化審議会	継続	経済環境部 環境美化センター	教養学部 人間環境学科 勝田 悟教授	清掃に関する制度の改善整備及び清掃美化に関する根本的対策を調査審議する。	期 日 平成30年7月23日
						場 所 議会全員協議会室
						内 容 ごみ処理基本計画に掲げたごみ減量の目標値等に係る進捗状況等について
						参加者数 10名
成果及び 課題 専門的見地から、新たなごみの減量と資源化の取組成果の検証や今後の改善手法等について、多くの意見をいただいた。						

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）	
10	伊勢原市社会福祉審議会	継続	保健福祉部 福祉総務課	医学部 医学科 渡辺雅彦教授  健康科学部 社会福祉学科 東 奈美准教授	市長の諮問に応じて社会福祉に関する事項について、調査及び審議を行う。	期 日	平成30年11月27日、平成31年2月19日（予定）
						場 所	中央公民館、子ども科学館会議室
						内 容	第1期伊勢原市自殺対策計画の策定について
						参加者数	12名
成果及び 課題	専門的見地から議題について意見をいただいている						
11	伊勢原市成年後見・権利擁護推進センター運営委員会	継続	保健福祉部 福祉総務課	法学部 法律学科 塩原真理子准教授	伊勢原市成年後見・権利擁護推進センターの公平性かつ中立性の確保及び円滑で適正な事業運営ができるよう助言等を行う。	期 日	平成30年8月9日、平成31年2月14日（予定）
						場 所	市役所3A会議室、市役所第2委員会室
						内 容	・成年後見・権利擁護推進センターの事業実施状況について・成年後見制度利用促進基本計画について 他
						参加者数	5名
成果及び 課題	専門的見地からセンター運営委員会にて意見をいただいている						
12	伊勢原市地域福祉計画点検推進委員会	新規	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント 学科 妻鹿ふみ子教授	伊勢原市地域福祉計画の円滑な推進を図るため、計画の進捗状況の点検、改善及び施策の充実方法等について審議を行う。	期 日	委員委嘱は平成30年11月に書面にて行ったが、会議初回は平成31年度を予定
						場 所	
						内 容	
						参加者数	
成果及び 課題							
13	伊勢原市障害支援区分判定審査会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント 学科 中野いずみ教授	介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定を行う。	期 日	毎月3回（第1金曜日、第2火曜日、第4火曜日）
				健康学部 健康マネジメント 学科 市川享子講師		場 所	伊勢原市役所 会議室
				医学部 医学科 市村 篤講師		内 容	介護給付に係る障害支援区分に関する審査と判定
						参加者数	5名
成果及び 課題	専門的な意見、判断をいただき、障害支援区分の判定をすることができている。						
14	伊勢原市障がい者とくらしを考える協議会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント 学科 菅野 和恵准教授	障害者及びその家族の個々の事情に即したサービスが提供されているか、また伊勢原市における地域課題や、施策提案等について確認し、協議、検討を行う。	期 日	平成30年 6月26日、7月11日、9月25日、10月5日 平成31年 1月29日、2月5日
						場 所	伊勢原市役所 会議室
						内 容	・各専門部会からの報告を受け、地域課題や施策提案等について、全体での協議検討 ・障害者計画、障害福祉計画の点検評価 ・困難事例への対応のあり方について ・その他地域の障害福祉について検討すべき事項
						参加者数	20名程度（協議内容により変更あり）
成果及び 課題	各専門部会からの報告及び提案事項等について意見、助言をいただき検討することができている。						

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
15	伊勢原市指定管理者候補者選定委員会	新規 (単年度)	保健福祉部 障がい福祉課	健康学部 健康マネジメント 学科 市川享子講師	障害福祉センター（すこやか園・ドリーム）指定管理期間が、平成32(2019)年3月31日で期間満了を迎えるため、指定管理候補者を選定する指定管理者候補者選定委員会を設置、開催する。	期 日 平成30年10月11日
						場 所 伊勢原市役所 会議室
						内 容 障害福祉センターの指定管理候補を選定
						参加者数 11名
成果及び 課題	的確な判断や審査ができています。					
16	伊勢原市自殺対策計画推進委員会	継続	保健福祉部 障がい福祉課	医学部 医学科 山本 賢司教授	自殺対策計画策定のため、計画推進委員会を開催する。	期 日 平成30年7月23日、9月13日、11月16日
						場 所 伊勢原市役所 会議室
						内 容 第1期伊勢原市自殺対策計画の策定
						参加者数 14名
成果及び 課題	専門的な意見や指摘をいただき、計画の円滑な策定ができています。					
17	介護保険運営協議会	継続	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント 学科 西村 昌記教授	介護保険事業の運営に関する事項及び地域包括支援センターの運営等に関する事項の審議や高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の進行管理を行う。	期 日 平成30年8月2日、平成30年11月15日 平成31年2月14日（予定）
						場 所 伊勢原市役所 2C会議室 他
						内 容 第1回： 介護保険サービス事業者の公募による選定について 他 第2回： 平成29年度伊勢原市地域包括支援センター活動評価まとめについて 他
						参加者数 各回12名程度
成果及び 課題	専門的見地から介護保険運営についての意見等をいただいた。					
18	伊勢原市介護認定審査会	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部 医学科 佐藤 慎二教授	介護保険法に規定するもののほか、生活保護法第6条に規定する被保護者であって40歳以上65歳未満の者に係る審査判定業務を行う。  任期：平成29年4月1日～平成31年3月31日	【実施済み】50回 【今後実施予定】20回 ※原則月10回開催とし、10合議体の審査会のうち、各委員はそれぞれ一つの合議体に所属し、月1回出席する。（審査件数が少ない場合、委員が集まらなかった場合には中止となる）
				医学部 看護部 高橋 明子看護師長		
				医学部 看護部 和田 峰香看護師長		
				医学部 看護部 診療技術部 リハビリテーション 技術科 高橋 真須美科長		
				医学部 看護部 診療技術部 リハビリテーション 技術科 中里 友哉係長		
				健康科学部 社会福祉学科 阿部 正昭准教授		
				医学部 看護学科 庄村 雅子准教授		
医学部 看護学科 小椋 正道講師						
期 日	伊勢原市役所 公害等会議室					
場 所	伊勢原市役所 公害等会議室					
内 容	介護保険法に基づき、要介護（要支援）認定申請のあった者に対し、認定調査及び主治医意見書から、介護度及び認定有効期間を決定する。					
参加者数	委員4名					
成果及び 課題	専門的見地から意見等をいただいている。					

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）	
19	高齢者虐待対応 緊急作業会議	継続	保健福祉部 介護高齢課	健康学部 健康マネジメント 学科	高齢者虐待対応の 中で、虐待と認定さ れた後、緊急性の 判断をしたり、具 体的支援方法、支 援期間を設定する ため、会議を開催 する。	期 日	未実施 ※ケース対応に専門的見地から意見を いただくため、必要に応じて依頼する。
						場 所	
						内 容	
						参加者数	
						成果及び 課題	
20	伊勢原市在宅医 療と介護連携推 進会議	継続	保健福祉部 介護高齢課	医学部医学科基 礎医学系生体構 造機能学 福山 直人教授  医学部 看護学科 岡部 明子准教授  医学部付属病院 患者支援センター 総合相談室 内田 敦子室長	医療と介護の両方 を必要とする状態 の高齢者が、住み慣 れた地域で自分らし い暮らしができるよ う、地域における医 療と介護の関係機 関が連携して、包括 的かつ継続的な在 宅医療と介護サー ビスを提供する体制 構築を推進するた め会議を開催し、課 題に対する対策を 検討する。	期 日	平成30年6月27日、平成30年9月19日 平成31年1月16日
						場 所	伊勢原市役所 2C会議室 他
						内 容	切れ目のない在宅医療と在宅介護の提 供体制や医療介護関係者の研修、地域 住民向け講演会等について検討する。
						参加者数	17名
						成果及び 課題	各委員から、医療及び介護の専門的見 地からの意見等をいただいた。
21	伊勢原市地域医 療連絡会	継続	保健福祉部 健康づくり課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 石橋 利昭課長	安心できる医療・保 健の実現を目指し、 地域医療のあり方等 について研究・調整 を行う。	期 日	未実施 ※必要に応じて開催する。
						場 所	
						内 容	
						参加者数	
						成果及び 課題	
22	伊勢原市スポー ツ推進審議会	継続	保健福祉部 スポーツ課	健康科学部長 杏澤 智子教授	市民生涯スポーツ 推進基本計画に基 づき、市民が主体の 生涯スポーツ社会 の実現に向けたス ポーツ活動の推進 策などを審議する。	期 日	平成30年8月21日、平成30年12月6日 平成31年1月30日
						場 所	青少年センター 他
						内 容	委嘱式、事業計画について等
						参加者数	12名
						成果及び 課題	専門的見地から意見等をいただいた。
23	伊勢原市国民健 康保険運営協議 会	継続	保健福祉部 保険年金課	健康科学部 社会福祉学科 東 奈美准教授	国民健康保険事業 の運営に関する重 要事項を審議する。	期 日	平成30年11月28日、平成31年3月(予 定)
						場 所	伊勢原市役所2階 2C会議室
						内 容	伊勢原市国民健康保険の財政運営状 況について 等
						参加者数	9名
						成果及び 課題	国民健康保健事業の運営に関する事項 についての意見をいただいている。
24	伊勢原市子ども・ 子育て会議	新規	子ども部 子ども育成課	健康学部 健康マネジメント 学科 菅野 和恵准教授	子ども・子育て支援 事業計画に関する 進行管理、教育・保 育施設等に関する 事項を審議する。	期 日	平成31年2月8日
						場 所	伊勢原市民文化会館 練習室2
						内 容	子ども・子育て支援事業計画の進行管 理について 等
						参加者数	8名
						成果及び 課題	議案に関して専門的見地から意見等を いただいた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
25	伊勢原市要保護 児童対策地域協 議会	継続	子ども部 子ども家庭相 談課	医学部付属病院 患者支援センター 総合相談室 内田 敦子室長	子どもを守る地域 ネットワーク構成員 と連携強化を図り、 児童虐待の発生予 防、早期発見・早期 対応について取組 む。	期 日 平成30年7月31日
						場 所 青少年センター2F工芸室
						内 容 事業実績及び計画の報告、事例検討
						参加者数 27名
						成果及び 課題 困難事例について、専門的助言を得ら れた。
26	伊勢原市都市計 画審議会	継続	都市部 都市政策課	工学部 建築学科 加藤 仁美教授	都市計画案件に関 する審議等を行う。	期 日 第1回：平成30年8月24日 第2回：平成30年11月6日
						場 所 伊勢原市役所3階 全員協議会室 等
						内 容 第1回： ・都市計画下水道第2号公共下水道の 変更について、立地適正化計画におけ る都市機能誘導区域及び誘導施設の設 定について(案) 等。 第2回： ・伊勢原都市計画生産緑地地区の変 更、都市計画道路の検証について
						参加者数 第1回：14名、第2回：14名
						成果及び 課題 委員の委嘱と、議案に関して専門的見 地から意見等をいただいた。
27	伊勢原市まちづく り審議会	継続	都市部 都市政策課	法学部 法律学科 塩原 真理子准教 授	市民等が主体のま ちづくり活動の推進 及び支援並びに開 発事業の協議調 整、また、景観まち づくりに関する審議 を行う。	期 日 平成30年7月31日
						場 所 伊勢原市役所3階 第3委員会室
						内 容 ・開発動向等について ・景観まちづくりについて
						参加者数 5名
						成果及び 課題 委員の委嘱と、報告事項に関して専門 的見地から意見等をいただいた。
28	伊勢原市下水道 運営審議会	新規	土木部下水 道業務課	政治経済学部 経営学科 松原 沙織准教授	市長の諮問に応じ、 受益者負担金、下 水道使用料、下水 道の運営について 審議するほか、下水 道事業の運営に関 する事項を調査・研 究する。	期 日 平成30年7月19日 平成31年2月(予定)
						場 所 伊勢原市役所3階 全員協議会室 他
						内 容 委嘱式及び下水道運営審議会
						参加者数 12名(委員数)
						成果及び 課題 下水道運営審議会において、専門的見 地から意見をいただいている。
29	伊勢原市文化財 保護審議会	継続	教育部 教育総務課 歴史文化担 当	文学部 歴史学科考古学 専攻 北條 芳隆教授	教育委員会の諮問 に応じて、文化財の 指定、その指定の解 除、保存及び活用 に関する専門的、技 術的事項を調査審 議し、教育委員会に 建議する。	期 日 平成30年8月27日
						場 所 第3委員会室
						内 容 伊勢原市文化財保護条例に基づく指 定・登録についての審議、文化財保護 法改正についての報告
						参加者数 6名
						成果及び 課題 本年度新たに2件の指定、2件の登録文 化財を追加した。
30	伊勢原市いじめ 問題専門調査会	継続	教育部 教育指導課	医学部医学科外 科学系救命救急 医学 市村 篤講師  課程資格教育セン ター 教職研究室 山川 勝久教授	いじめ防止対策推 進法に基づく、いじ め防止等のための 対策及び重大事態 についての調査を 行う。	期 日 平成30年5月8日 平成31年2月19日(予定)
						場 所 伊勢原市青少年センター 工芸室
						内 容 伊勢原市いじめ防止基本方針改定内容 について
						参加者数 14名
						成果及び 課題 専門的分野の知識や経験による意見を いただいた。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
31	社会教育委員会 議	継続	教育部 社会教育課	課程資格教育セン ター 教育学研究室 古里貴士講師	文化や体育の振 興、家庭教育支援、 公民館運営等の社 会教育全般につい て、社会教育委員 会議に出席して意 見を述べる。	期 日 平成30年6月26日、12月5日 平成31年1月25日、3月（未定）
						場 所 伊勢原市立中央公民館ほか
						内 容 社会教育全般について意見を述べる。
						参加者数 12名
成果及び 課題 専門的見地から意見をいただいた。						
32	伊勢原市立子ど も科学館運営協 議会	継続	教育部 図書館・子ど も科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦教授	子ども科学館の円 滑な運営を図るた めに協議をする。	期 日 平成30年8月29日
						場 所 子ども科学館会議室
						内 容 子ども科学館の運営に関して専門的な 立場で意見等をいただいた。
						参加者数 6名
成果及び 課題 子ども科学館の運営についてご意見を いただくことができた						

#### (4) 市民活動、生涯学習活動、文化・芸術活動等への支援に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
1	いせはら市民大 学講座（社会教 育課と共催）	新規	保健福祉部 福祉総務課	健康学部 健康マネジメント 学科 妻鹿ふみ子教授	福祉政策の推進に 必要な人材育成を 着実に進めるため、 地域福祉に関する 研修講座を行う。	期 日 平成30年11月17日
						場 所 中央公民館 B会議室
						内 容 「地域共生社会実現のための支え合い の考え方と実践」についての講義
						参加者数 27名
成果及び 課題 【成果】地域の支え合いに関する概要を 学び、理解を深めることができた。 【課題】受講者数が想定よりも少なかった ため、日程などを検討する必要がある。						
2	市民公開講座	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部附属病院 長 医学部医学科 飯田 政弘教授	地域住民を対象とし た公開講座を開催 する。	期 日 平成30年5月19日
						場 所 東海大学医学部附属病院
						内 容 やさしい肝臓病のはなし
						参加者数 102名
成果及び 課題 肝臓病や最新の治療等について知識を 深めることができた。						
3	いきいき健康講 座	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部 医学科 西崎泰弘教授	地域住民を対象とし た生活習慣病予防 講座を開催	期 日 平成30年7月23日、9月29日、10月15 日、 11月12日、12月14日 平成31年2月18日（予定）
						場 所 東海大学伊勢原校舎
						内 容 医学部医師等による専門分野の講話 （健診の勧めの内容を含む）
						参加者数 202名
成果及び 課題 更なる講座参加人数の増加と講演内容 の検討						
4	総合型地域ス ポーツクラブ運営 事業	継続	保健福祉部 スポーツ課	健康科学部長 沓澤 智子教授	市民の体力・健康増 進を図るため、年間 を通して、4種目の ウィークデースポ ーツ教室と看護・社会 福祉・スポーツ運動 講座を設け、市民の 継続的な運動・ス ポーツ活動の展開 を推進する。	期 日 平成30年4月5日～平成31年3月30日
						場 所 東海大学伊勢原校舎
						内 容 健康講座と運動教室等の講座を開催
						参加者数 112名
成果及び 課題 クラブ発足時の担当教員リタイヤ等に伴 う運営体制の検討。						



番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
5	伊勢原市クルリン健康ポイント事業	継続	保健福祉部 スポーツ課	医学部 看護学科 松木 秀明特任教授	普段運動をあまり行わない方や、健康づくりには興味があっても、行動に移せない市民等を対象に、健康ポイント制導入による運動・スポーツプログラムを行い、楽しみながら気軽に参加できる健康増進の環境を提供する。	期 日 平成30年9月1日～平成31年3月16日
						場 所 東海大学伊勢原校舎
						内 容 毎日の歩数確認、月1回行う講義と運動・スポーツプログラムの実施
						参加者数 244名
						成果及び課題 健康意識の向上、運動実施率の増加、健康づくりへの関心などに一定の効果があつた。スポーツ無関心層の参加獲得が必要である。
6	子育てサポーター、ファミリー・サポート・センター支援会員研修会	継続	子ども部 子育て支援課	医学部 看護学科 井上 玲子教授	地域全体で子育てをサポートする人材の養成・育成を図るための講座を開催する。	期 日 平成30年10月16日
						場 所 伊勢原市役所2C・2D会議室
						内 容 小児看護の基礎知識
						参加者数 19名
						成果及び課題 子育てサポーター及びファミリー・サポート・センター支援会員が、乳幼児に携わる活動を行ううえで重要な、小児看護の基礎知識について、理解を深めることができた。また、心肺蘇生法やトラブル対応時の演習において、専門的な知識を習得することができた。
7	大学開放講座	継続	教育部 社会教育課	健康科学部 体育学部	健康、生活、福祉等の基本的な知識と技術を習得するための機会と場を提供する。	期 日 平成30年10月27日、11月10日、11月24日、12月8日（予定）、12月15日（予定）（全5回）
						場 所 東海大学伊勢原校舎
						内 容 健康や生活、福祉などの基礎知識及び体力作りのための基礎技術について学習する機会を提供
						参加者数 28名
						成果及び課題 生涯学習に対するニーズが高まる中、市民が健康、生活、福祉や運動についての基礎知識を学ぶことができた。
8	市民のための図書館教養講座	継続	教育部 図書館・子ども科学館	中央図書館 図書課 文化社会学部 文芸創作学科 三輪 太郎教授	市民の読書欲、探究心の向上を図るため、教養講座を開催する。	期 日 平成30年11月25日
						場 所 図書館AVホール
						内 容 三島由紀夫の文学と人生について
						参加者数 69名
						成果及び課題 読書へ興味関心を抱ききっかけ作りとなった
9	科学実験教室	継続	教育部 図書館・子ども科学館	理学部 化学科 藤尾 克彦教授	身近な材料を用い実験・工作を通して、科学に対する興味をもってもらい講座を開催する。	期 日 平成30年8月2日
						場 所 子ども科学館 工作/実験室
						内 容 科学実験教室「いろいろなシャボン玉をつくらう」
						参加者数 14名
						成果及び課題 大学の教授から科学について教えてもらえるので、参加者の興味を強く引きつけるものとなった。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）	
10	ロボットフェスティバル	継続	教育部 図書館・子ども科学館	理学部 情報数理学科 松本 哲志准教授	市内中学校の科学部及び東海大生の日ごろの活動及び研究成果の発表の場として、子ども科学館にてロボットフェスティバルを開催する。	期 日	平成30年8月2日
						場 所	子ども科学館 なんでも広場
						内 容	ロボットの展示と体験操縦
						参加者数	151名
						成果及び課題	東海大生の日ごろの活動及び研究成果の発表の場となり、科学への興味・関心を高めることができた。

### (5) 産業、観光等地域経済の振興に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	主な内容	主な実施状況（平成31年1月末時点）	
1	TOKAIグローバルフェスタ2018 湘南マルシェ出店	継続	経済環境部 商工観光課 (観光協会) 農業振興課	地域連携センター 地域連携課	東海大学湘南キャンパスに特産品をPRするスペースを開設し、伊勢原市の魅力や情報を発信する。	期 日	平成30年10月20日
						場 所	東海大学湘南キャンパス
						内 容	・日本遺産「大山詣り」浮世絵刷り体験コーナー ・うまいものセレクト物販(観光協会) ・いせはら地ミルクの紹介
						参加者数	来訪者各約100名 従事者各2名(歴史文化担当) 従事者4名(農業振興課)
						成果及び課題	本市の魅力である日本遺産「大山詣り」・うまいものセレクト・畜産業について、グローバルフェスタに訪れた多数の人に紹介できた。
2	東海大学伊勢原校舎物産展	継続	経済環境部 商工観光課 (観光協会)	観光学部 観光学科 伊勢原総務課	東海大学医学部付属病院に推奨みやげ品等の販売スペースを開設し、物産品を販売する。	期 日	平成31年1月16日～17日、2月13日～14日の4日間
						場 所	東海大学病院バス待合所
						内 容	うまいものセレクト(旬の野菜・くだもの・推奨みやげ品)
						参加者数	各日2名
						成果及び課題	東海大学病院の関係者(患者さんを含む)へ物産を通じ伊勢原の魅力を伝えることができる。
3	丹沢湘南観光連携会議	継続	経済環境部 商工観光課 (観光協会)	観光学部 観光学科 岩橋 伸行教授	伊勢原市、秦野市、平塚市、大磯町、二宮町、中井町、湘南地域県政総合センター、東海大学観光学部によりツアー企画などの会議を開催する。	期 日	平成30年度は未開催
						場 所	
						内 容	
						参加者数	
						成果及び課題	
4	道灌まつりポスターデザイン	継続	経済環境部 商工観光課	地域連携センター 所長 教養学部 芸術学科 池村 明生教授	東海大学の学生による道灌まつりのポスターデザインを行う。	期 日	平成30年7月～8月
						場 所	東海大学湘南キャンパス
						内 容	道灌まつりポスター、プログラムデザイン
						参加者数	4名4作品のうち1名1作品を採用
						成果及び課題	伊勢原の観光と太田道灌公のPRを行うことが出来た。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
5	平成大山講プロジェクト推進協議会	継続	経済環境部 商工観光課	観光学部 観光学科 橋本 佳典教授	神奈川県の新たな観光の核づくり事業の認定を受け、かつての「大山講」のように多くの人が訪れたにぎわいのある大山の再現を目指す。	期 日 平成30年6月11日、12月19日 平成31年3月末(予定)
						場 所 伊勢原市役所 青少年センター 他
						内 容 総会、事業の途中経過等報告 他
						参加者数 21名（他 事務局）
成果及び 課題	観光事業者、交通事業者及び大学教授の専門的見地より意見をいただき、大山を中心とした連携を行い、県より認定をうけた「観光の核づくり事業」を推進した。					

#### (6) 大学の学術研究における行政情報の提供に関すること

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	主な内容	主な実施状況（平成31年1月末時点）
1	風水害に関する学術研究への支援	継続	企画部 危機管理課	工学部 土木工学科 梶田 佳孝教授  工学部 土木工学科 杉山 太宏教授	伊勢原市洪水ハザードマップのメッシュ高解像度化へ向けた研究実施のため、マップ作成時の各種データの情報提供を行うとともに、土砂災害特別警戒区域内の地盤や雨量の相関等について調査・研究するために必要な支援を行う。	期 日 平成30年6月3日
						場 所 大山小学校、JA大山支所
						内 容 大山地区土砂災害対策訓練
						参加者数 279名
成果及び 課題	地元住民の早期警戒避難体制の構築					
2	都市・地域デザインに関する学術研究への支援	新規 (単年度)	都市部 都市政策課	工学部 土木工学科 梶田 佳孝教授	伊勢原駅周辺を中心市街地の整備、大山の地域資源の活用、愛甲石田駅へのアクセスなどをテーマに地域の課題に対する解決策を検討・提案する。	期 日 平成30年11月21日
						場 所 伊勢原市役所3階 全員協議会室
						内 容 市職員による講義(伊勢原市役所)
						参加者数 30名程度
成果及び 課題	伊勢原市の都市政策を中心に現状等を説明した。					

#### (7) 市及び大学施設の相互利用に関すること

番号	協定・申合せ等名称	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	主な内容	主な実施状況（平成31年1月末時点）
1	伊勢原市立図書館と東海大学図書館の相互利用協定	継続	教育部 図書館・子ども科学館	中央図書館 図書館課	市民と東海大学職員・学生の図書館の相互利用を行う。	期 日 随時
						場 所 伊勢原市立図書館及び東海大学付属図書館
						内 容 東海大学付属図書館の資料の貸出
						参加者数 25名
成果及び 課題	東海大学が所蔵する専門的資料を利用に供することができた。					

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
2	伊勢原市教育センター研究発表会	継続	教育部 教育センター	総務課	教育センターの指定課題別調査研究と自主課題別調査研究に携わった団体が研究の成果について発表、ラミラダ市教育視察研修報告、パネルディスカッションを行った。	期 日 平成30年8月21日
						場 所 東海大学伊勢原キャンパス講堂A
						内 容 研究成果の発表等
						参加者数 141名
成果及び 課題 ICT機器を活用し、その環境を生かした発表をすることができた。						

## (8) その他

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	主な内容	主な実施状況（平成31年1月末時点）
1	伊勢原市デジタル移動通信システム連絡協議会	継続	企画部 危機管理課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 石橋 利昭課長	デジタル移動通信システムを効果的に活用するため、無線局の運用上、必要な事項について協議する。	期 日 平成30年4月12日
						場 所 市役所
						内 容 デジタル移動通信システムの運用等確認
						参加者数 10名
成果及び 課題 防災技術と知識の向上						
2	伊勢原市総合防災訓練	継続	企画部 危機管理課	伊勢原事務部 伊勢原総務課 石橋 利昭課長	災害時応援協定に基づく災害時医薬品の調達、災害時医薬品の搬送について、総合防災訓練を通じて、役割分担等の確認を行う。	期 日 平成30年8月26日
						場 所 東海大学医学部付属病院、伊勢原中学校
						内 容 災害時医薬品の調達・搬送訓練
						参加者数 6名
成果及び 課題 関係機関との連携体制強化						
3	就業体験学生(インターンシップ)実習事業	継続	総務部 職員課	政治経済学部 政治学科 出雲 明子准教授	行政に参加する機会と情報を学生に提供する。(学生2名程度)	期 日 平成30年8月6日～8月10日
						場 所 伊勢原市役所(危機管理課、健康づくり課)
						内 容 インターンシップの受け入れ
						参加者数 2名
成果及び 課題 行政に参加する機会と情報を学生に提供した。						

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
4	伊勢原市平和史料収集事業	継続	市民生活部 市民協働課	文化社会学部 広報メディア学科 水島 久光教授	平和史料収集事業 (平和史料展示、史料のデータベース化、戦争体験談のインタビュー録画等)の実施に向けて、事業の進め方への協議をするとともに、インタビュー等については学生に協力をしてもらおう。 また、中学生の平和の旅に同行してもらい、学習の成果を撮影してもらおう。	期 日 ・平成30年7月30日 被爆者の会ドキュメンタリーワークショップ ・平成30年8月5日、6日 中学生平和学習ドキュメンタリー撮影 ・平成30年8月19日 「第32回平和のつどい」
						場 所 伊勢原市役所、伊勢原市民文化会館、 平和記念公園等
						内 容 ・伊勢原市被爆者の会を対象に撮影し 作成したドキュメンタリー映像の上映を 行った。 ・被爆者の会ドキュメンタリー映像を用いた ワークショップを開催した。 ・「中学生平和の旅」に東海大学学生4 人及び水島教授に同行してもらい、伊勢 原市の中学生の広島での学習の様子を 撮影、編集し、上映した。
						参加者数 ・ドキュメンタリー作成対象者数:6名 ・中学生平和の旅派遣中学生:8名 ・被爆者の会ドキュメンタリーワークショッ プ参加者:9名 ・「第32回平和のつどい」小ホール来場 者数:210名
成果及び 課題 ・市内被爆者団体である伊勢原市被爆 者の会を対象に、「被爆者の会ドキュメン タリー」を作成し、8月19日の「第32回平 和のつどい」にて映像を上映することが できた。 ・伊勢原市の中学生の平和の旅での学 習の様子を撮影・編集した映像を、「第 32回平和のつどい」にて上映することが できた。 ・被爆者の会ドキュメンタリーワークショッ プの開催により、作成したドキュメンタ リー映像を活用することができた。 ・収録した戦争体験インタビュー及び被 爆者の会ドキュメンタリー映像の公開手 法について検討していく必要がある。						
5	障害者差別解消 フォーラム2019	新規 (単年度)	保健福祉部 障がい福祉 課	教育学部 教務課 藤井 功一課長補 佐	障害者差別解消法 の周知と合理的配 慮の理解、地域に おける取組の促進 を図る。	期 日 平成31年1月21日
						場 所 伊勢原市立中央公民館展示ホール
						内 容 東海大学の障がい学生支援の取組につ いての講演
						参加者数 112名
成果及び 課題 障がい学生への支援内容や取組、大学 としての支援の実情などが理解できた。						
6	治験審査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 治験審査委員会 安藤 潔教授	治験に先立って治 験の安全性と理論 性の審査を行う。	期 日 【実施済み】9回 【今後実施予定】2回
						場 所 東海大学医学部付属病院
						内 容 治験の安全性と理論性の審査
						参加者数 審査委員 19名
成果及び 課題 治験審査が適正に行われている。						

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
7	臨床研究審査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 臨床研究審査委員会 灰田 宗孝委員長	人を対象とした医学系研究における倫理的配慮に関して審査を行う。	期 日 【実施済み】10回 【今後実施予定】2回
						場 所 東海大学医学部付属病院
						内 容 人を対象とした医学系研究における倫理的配慮に関しての審査
						参加者数 審査委員 20名
成果及び課題 臨床研究の審査が適正に行われている。						
8	神奈川県ドクターヘリ運行調整委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 長 医学部医学科 飯田 政弘教授	ドクターヘリの効果的かつ安定的な運行に必要な諸機関の調整・広報・調査及び検証を行う。	期 日 平成30年7月27日(年2回開催予定)
						場 所 東海大学伊勢原校舎
						内 容 効率的かつ安定的な運航を行うための諸機関の調整及び検証
						参加者数 60名
成果及び課題 効果的かつ安定的ドクターヘリ運航に向けた調整が図られた。						
9	東海大学医学部付属病院ドクターヘリ運営委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 長 医学部医学科 飯田 政弘教授	東海大学医学部付属病院での救急体制に関する検討を行う。	期 日 平成30年11月27日
						場 所 FORAM246
						内 容 東海大学医学部付属病院での救急体制に関する検討を行う。
						参加者数 32名
成果及び課題 安定した救急医療体制に向けた協議検討を行うことができた。						
10	健康いせはらサポーター養成講座	継続	保健福祉部 健康づくり課	健康学部 健康マネジメント学科 妻鹿ふみ子教授	健康いせはらサポーター養成のための講習会を行う。	期 日 平成30年10月5日
						場 所 伊勢原シテイプラザ
						内 容 「ボランティア活動の基本について」
						参加者数 8名
成果及び課題 ボランティア活動についての基礎知識や心構えなどについて学ぶことができた。						
11	東海大学医学部付属病院医療安全管理業務監査委員会 (病院主催)	継続	保健福祉部 健康づくり課	医学部付属病院 長 医学部医学科 飯田 政弘教授	病院の医療安全管理業務が適切に遂行されていることを確認するため、監査委員の立場から、必要な意見・助言を行う。	期 日 平成30年10月1日(年2回開催予定)
						場 所 東海大学医学部付属病院
						内 容 医療安全に関する業務報告
						参加者数 委員5名
成果及び課題 医療安全業務が適切に実施されているか確認を行った。						
12	放課後子ども教室	継続	子ども部 青少年課	学生 (文学部、情報理工学部)	放課後の時間に児童が学習や工作、スポーツ等の活動を通して、地域の大人や学生など様々な年齢の人々とふれあう。	期 日 平成30年10月3日～平成31年3月末日
						場 所 比々多小学校
						内 容 学習、工作教室、スポーツ、科学ショーなど
						参加者数 比々多小学校(63名)
成果及び課題 放課後子ども教室(ひびた教室)の運営支援するボランティアを募集したところ、2名の学生の参加が得られた。						

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
13	伊勢原市教育講演会	新規 (単年度)	教育部 教育総務課	東海大学課程資格教育センター 教育学研究室 稲垣 智則准教授	小中学校PTA・教員・一般を対象とした教育講演会において講演する。	期 日 平成30年8月28日
						場 所 伊勢原市民文化会館 大ホール
						内 容 「いじめる側から見た世界」～いじめのない学校をめざして～
						参加者数 653名
						成果及び課題 教育の今日的課題を考える契機となった
14	教職課程教育実習	継続	教育部 学校教育課	教学部 資格教育課 伊勢原教学課	教育実習生受入依頼を受けた場合、市内中学校が直接受入れを行う。	期 日 平成30年5月、6月
						場 所 各校(小中)
						内 容 授業実習等
						参加者数 7名
成果及び課題 教員養成の一助となっている						
15	養護実習	継続	教育部 学校教育課	教学部 資格教育課 伊勢原教学課	養護教諭免許状取得のための実習を行う。	期 日 平成30年5月、6月、10月
						場 所 各校(小中)
						内 容 保健室での指導等
						参加者数 4名
成果及び課題 教員養成の一助となっている						
16	学校訪問教育相談研修会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 高橋有記助教  文化社会学部 心理・社会学科 中島香澄教授	市内小中学校において、精神科医、臨床心理士などの専門家を講師に招き、事例検討会を行う。	期 日 第1回:平成30年5月30日 第4回:平成30年9月7日 第5回:平成30年9月13日 第6回:平成30年10月4日 第7回:平成30年11月29日
						場 所 第1回:山王中学校 第4回:竹園小学校 第5回:高部屋小学校 第6回:大田小学校 第7回:桜台小学校
						内 容 不登校や多動など、集団生活にうまく適応できない児童生徒について、心理学及び医学的な側面から専門的なアドバイスを受けながら、事例研究・情報交換等を行うことにより、児童生徒理解を深める。
						参加者数 各回20名～30名程度
						成果及び課題 専門的な見地から児童生徒の理解を深める機会となっている。
17	ハートフルフレンド活用事業	継続	教育部 教育センター	健康学部 健康マネジメント学科 小林 理准教授  課程資格教育センター 教育学研究室 朝倉 徹教授	話し相手がない、仲間に入りづらい、集団活動に適應しにくい等の児童生徒を対象に、友人、家庭関係及び学習についてなどの心配事を気軽に相談したり、話を受け止めたりすることができるハートフルフレンドとして学生ボランティアを配置し、教育相談の充実を図る。	期 日 週1日程度
						場 所 伊勢原市内小中学校
						内 容 話し相手がない、仲間に入りづらい等の児童生徒を対象に、話し相手、遊び仲間又は学習支援者として活動
						参加者数 延べ 1名
						成果及び課題 学生にボランティア活動を行う機会を提供できている。

番号	事業名	継続 新規	市担当部課	学部課名・ 担当教員等	事業目的	主な実施状況（平成31年1月末時点）
18	東海学級連絡協 議会	継続	教育部 教育センター	医学部 医学科 小池 隆志 講師  医学部 医学科 大坪 慶輔 講師  伊勢原事務部 伊勢原総務課 石橋 利昭課長	東海学級(院内学 級)の管理・運営及 び伊勢原市教育委 員会と東海大学医 学部付属病院との 連絡・調整を行う。	期 日 第1回:平成30年5月10日 第2回:平成30年11月8日 第3回:平成31年2月22日(予定)
						場 所 東海大学医学部付属病院会議室
						内 容 第1回:年間計画、在籍状況、学級の近 況について 第2回:2学期の行事・学習、在籍状況、 学級の近況について 第3回:1年間の運営実績報告、次年度 の予定等について
						参加者数 各回15名前後
成果及び 課題 東海学級の管理・運営について共通理 解が促進され、東海学級の円滑な運営 を図ることができている。						
19	適応指導教室実 習	継続	教育部 教育センター	東海大学大学院 文学研究科コミュ ニケーション学専 攻臨床心理学系 の授業の一環とし ての実習 担当:文化社会学 部 心理・社会学科 中島香澄教授	教育センターと大学 院側双方のそれぞ れのねらいを達成 することを目的に教 育センター・適応指 導教室において実 習の場を提供する。	期 日 ※今年度は未実施(実習生がいなかっ たため)
						場 所
						内 容
						参加者数
成果及び 課題						
20	博物館実習	継続	教育部 図書館・子ど も科学館	教育学部 資格教育課	学芸員資格取得の ための実習を行う。	期 日 平成30年7月28日～8月4日
						場 所 子ども科学館
						内 容 毎年実施している。今年は文明学科の 学生で、色々なことに積極的に取り組ん でもらった。
						参加者数 1名
成果及び 課題 毎年実施している。色々なことに積極的 に取り組んでもらった。						
21	科学館フェスティ バルの教室	継続	教育部 図書館・子ど も科学館	チャレンジセン ターサイエンスコ ミュニケーター	5月に行われる科学 館フェスティバルの 中で子ども向けの科 学実験教室を実施 する。	期 日 平成30年5月4～5日
						場 所 子ども科学館 パソコン室
						内 容 科学館フェスティバルの中で子ども向け の科学実験教室を実施
						参加者数 延べ458名
成果及び 課題 多くの学生が従事してくれたことにより、 たくさん子どもたちが科学の不思議さ などの体験ができた。						